

えほんのおへや通信

2007年2月15日(木)発行 サンガこども園 <http://sanga.ftw.jp/>

今年の冬は例年になく暖かく、2月もバレンタインデーだというのに春が感じられます。冬をテーマにした絵本は数多くありますが、今年はなぜか子どもたちから遠のいているようです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」3月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「どーっちだ？」

植垣 歩子 作

動物たちがどっちの手に食べ物を持っているか当てます。子どもたちが誰でも当てられるように動物が持っているものは良く見えるように描かれています。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「とらきちのぼうけん」

間 宙地 文 前田 マリ 絵
とらきちは自由気ままな野良猫。船に飛び乗って昼寝をしていたら、いつのまにか海です。しかし、とらきちにとっては心躍る冒険でした。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「そらとぶおうち」

榎 ひろし 作

前川欣三・榎 ひろし 絵

思いのままに楽しく描いた自分たちの絵が現実になったらどんなにか楽しいでしょうか。たけし君とひろみちゃんの描いた絵のお家が空を飛びます。



こどものとも

5～6歳向き

「くものすおやぶん

ほとけのさばき」

秋山 あゆ子 作

「くものすおやぶん とりものちょう」の2作目です。セミの生態と虫の寺の生活ぶりを描いた本格的痛快時代劇絵本です。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「しまであおね」

たむら しげる 作

フーブ博士からルネ君と彼の仲間たちへ手紙が届きました。そこには「しまにあつまれ」と書かれていました。ルネ君は自転車で、他の仲間たちはバス、飛行機、電車、船で島に向かいます。さて・・・



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「ちびくろ・さんぼ」

ヘレン・バンナーマン 文

フランク・ドピアス 絵

光吉 夏弥 訳

まぼろしのベストセラー絵本が復刊しました。ちびくろ・さんぼの立派な服などを奪い合ったトラがバターになりました。そのバターでちびくろ・さんぼの家族はホットケーキを作って食べました。



(瑞雲舎)

「おまけのじかん」

あまん きみこ・作

吉田 奈美・絵

お母さんの急な仕事で誕生会が1日伸びて、マミちゃんはがっかり。だけどお祝いの前の晩は楽しい楽しいおまけの時間です。どんなことが起きるのかな？



(ポプラ社)

【雑感】

自殺しようとした女性を助けようとして電車にはねられ重体となった警察官が先日亡くなりました。非常に残念です。それにしてもその時ホームいた乗客は誰一人「非常ボタン」を押さなかった。「無関心」ではないと思いたいですが、空しさと悲しみが残る事故ですね。



※ 絵本の表紙の画像は出版社の許可を受けて掲載しています。